

# 国際政治

123

## 転換期のアフリカ

日本国際政治学会編

序論 21世紀アフリカと新たな視座	川端正久
アフリカ「市民社会」論の展開	遠藤貢
アフリカ研究と市民社会論	佐藤誠
アフリカの政治・社会における新たなアクター	望月克哉
「民主主義のグローバル化」とアフリカ諸国の政治的不安定	井上一明
南アフリカにおけるキリスト教会と政治	牧野久美子
アフリカ民族紛争の理論化	戸田真紀子
冷戦後アフリカにおける紛争対応メカニズム	青木一能
ユーロ・アフリカ関係の新展開	鈴木清巳
日本のアフリカ外交	森川純
<hr/>	
モンロー・ドクトリンとアメリカの対中南米外交 1824-1828	中嶋啓雄
コスタリカ・ニカラグア紛争（1955年）をめぐる 国際環境と米国アイゼンハワー政権の対応	竹村卓
<hr/>	
<書評論文>	
中国の戦略文化	浅野亮
<hr/>	
<書評>	
秋野豊著 『偽りの同盟——チャーチルとスターリンの間』	佐々木雄太
松岡完著 『1961 ケネディの戦争——冷戦・ベトナム・東南アジア』	木村卓司
M・アラガッパ編 『アジアにおける安全保障の実践 ——その物理的要因・理念的要因』	川崎剛

2000年1月刊